

社会を明るくするための取り組み

太田市立北の杜学園 八年 田尻 彩華

私は、今年の八月に家族で、太田保護区BBS会が主催の「親子ふれあい工作教室」に参加しました。そのイベントの中で、犯罪に関する映画を見たり、太田保護区BBS会をはじめ、太田保護区保護司会、太田市更生保護女性会、太田市更生保護事業主会の方々の話を聞くことができました。

映画では、犯罪をおかしてしまっただ人が罪

の代償を受け、反省し、心を入れかえて更生して再び社会に復帰していくという内容でした。人は誰でも弱い部分を持っていると思います。そのため、時には、犯罪をおかしてしまう可能性があります。これを防ぐには、お互いの弱い部分を支え合って、フォローしていくことが大切だと思います。

一度犯罪をおかしてしまっただけで、世間の目が厳しくなり、社会への復帰が難しくなるのが現実です。そればかりではなく、大切な家

族からも距離を置かれてしまう場合もあります。それは、とても悲しく、つらいことだと思っています。そのため、軽い気持ちで犯罪に手を染めてはいけないと思います。

もし犯罪をおかしてしまったり、必ずその罪の代償を払わなくてはなりません。自分自身とし、かり向き合って反省し、もう二度とあやまちをおかさないように心を入れ変えて、更生することが大切です。

しかしながら、更生したからといって、

社会への復帰は厳しいと思います。それをサポートしてくる様々な団体が存在していることを、今回のイベントを通して学ぶことができませんでした。自分一人では、家族の元に帰ることができない場合に、住む場所を探してくれたり、働く受け入れ先を見つけてくれたり、親身になつて相談に乗ってくれたりして、心に寄り添ってくれる団体があるということは、とても心強いと思います。私が住んでいる太田市にも、そのような団体が四つ



も存在していて、日々のボランティア活動を通して、たくさんの方たちの社会復帰の支援をしてくれているというごとき知りました。その人たちのお陰で、立ち直ることや自立ができたり、人生に対して再び前向きに向き合うことができようになった。幸せな人生を思い描くことができるような明るい社会作りが進んでいくと思います。

このイベントを通して、太田市保護区BB社会をはじめとする社会を明るくする運動を行っているボランティア団体の様々な活動内容を学ぶことができました。来年もこのイベントに参加して理解を深めていきたいです。